REPORT

2026年度の大分県経済の見通し
個人消費の改善などから
プラス成長を見込む

【要　旨】

○2025年度の大分県の実質経済成長率は＋1.3％と、プラス成長になる見通しである。

○上期は、生産活動では海外景気減速の影響がみられたが後半にかけて緩やかに持ち直した。一方、個人消費は横ばい圏内で推移し、住宅投資は低下した。下期は、個人消費の持ち直しが見込まれるが、生産活動は堅調さを維持しつつも一部に弱さがみられるだろう。住宅着工は上期に引き続き低下が見込まれる。ただし、年度を通じて一部企業の設備投資が旺盛であり、設備投資がけん引する形で、2025年度の県内経済はプラス成長となる見通し。

○2026年度の大分県の実質経済成長率は＋1.4％と、プラス成長を見込む。

○個人消費は実質賃金の増加に伴い緩やかに回復し、生産活動も上昇する見通し。一方で、住宅投資は住宅価格や金利上昇への警戒感から低調に推移し、設備投資は前年度の反動から減少するとみられる。2026年度の県内経済は、個人消費や生産活動がけん引し、プラス成長になる見通し。

図表　2025・2026年度の大分県の経済成長率見通し（実質ベース、前年度比増減率）

	2022年度 実　績	2023年度 推　計	2024年度 推　計	2025年度 予　測	2026年度 予　測
実質経済成長率	6.9	0.2	▲0.7	1.3	1.4
民間最終消費支出（個人消費）	2.0	3.5	4.9	0.3	1.1
民間住宅投資	▲8.5	▲9.2	▲0.6	▲9.4	▲1.2
民間企業設備投資	▲3.4	14.2	▲4.6	9.2	▲7.6
政府最終消費支出	2.1	▲1.0	1.6	0.5	1.0
公的総固定資本形成（公共投資）	▲9.7	9.2	▲4.1	▲1.8	▲0.5
鉱工業生産指数	112.0	109.6	102.4	113.3	119.0
消費者物価指数（生鮮食品を除く）	101.9	104.4	107.2	110.1	112.1
有効求人倍率	1.40	1.41	1.35	1.23	1.21

注）鉱工業生産指数、消費者物価指数、有効求人倍率は年度平均値で、2022・2023・2024年度は実績値、2025・2026年度は当研究所予測値。